

第1回 ITマネジメント研究会 初級者編

クライアントPC管理の光と影～熟練管理者が様々な経験から最適策を語る～

PCネットワークの管理・活用を考える会

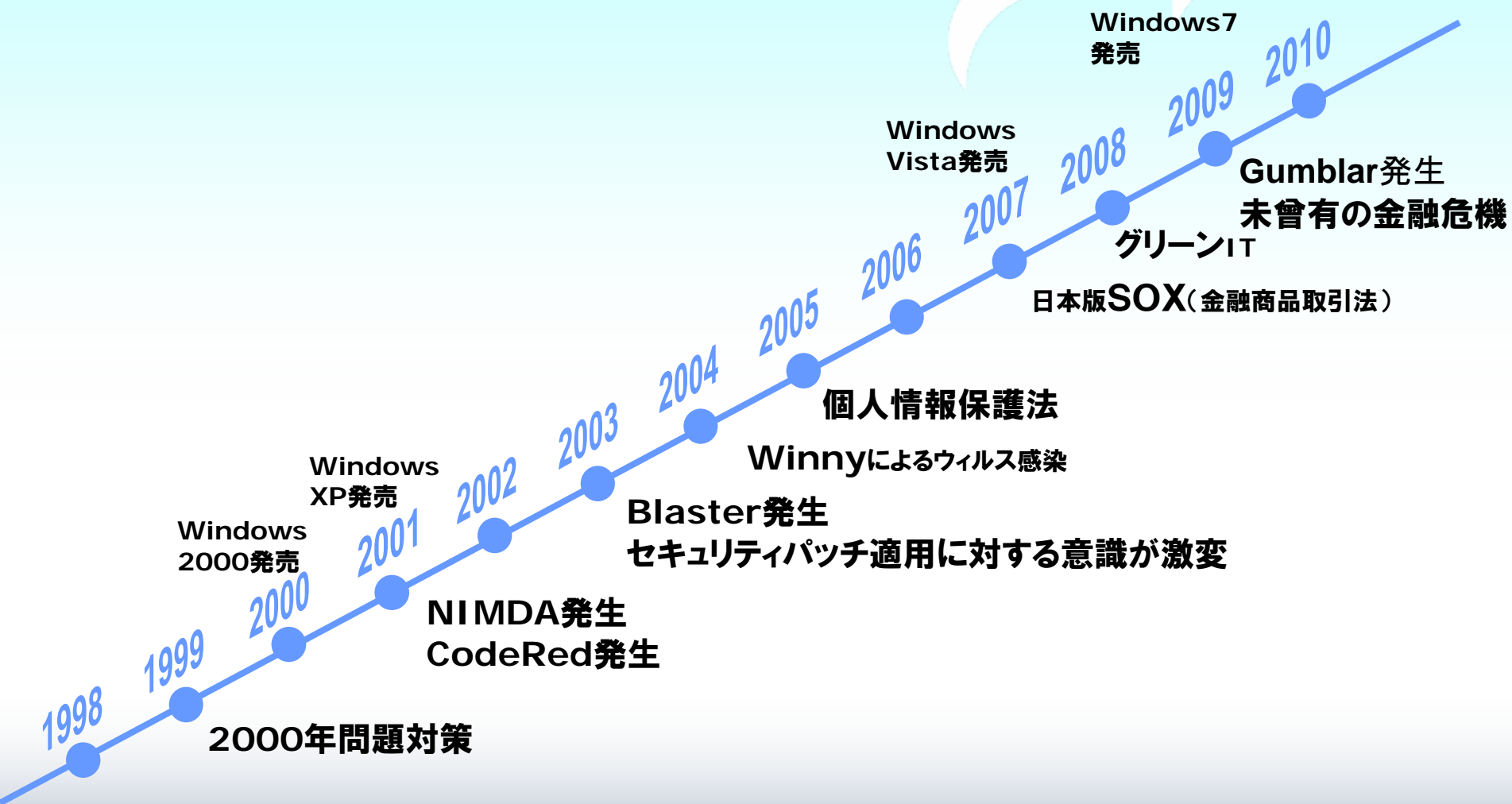
座長 柳原秀基

hide3@yanagihara.cc

アジェンダ

- ≡ 過去10年を振り返る
- ≡ 企業を取り巻くIT環境の変化
- ≡ 現在の動向
- ≡ PC管理のあるべき姿
- ≡ ソフトウェア資産管理の重要性
- ≡ すべてはここから始まる

過去10年を振り返る



企業のPC管理に関わる事件

- ≡ WEBサイト管理の委託先PCが**Gumblar**(ガンブラー)攻撃を受け、大手企業のWEBサイトが続々と改ざんされた。
- ≡ **USBメモリ**に感染するウイルスの感染報告件数が15ヶ月トップテン入り。今後も不正プログラムが新たに発生する危険大。(トレンドマイクロ調べ、'10/02現在)
- ≡ 保険会社で業務委託先の従業員が約3万2000件の**個人情報**を持ち出し。累計6592件のクレジットカード不正使用の被害があり、金融庁から業務改善命令。
- ≡ 北海道庁で21,747本もの**違法コピー発覚**。ソフトウェアの正規購入費だけで6億円超。今後和解金も含めさらに多額になるという予測。

企業を取り巻くIT環境

- ≡ 企業Webサイトの改ざん被害
- ≡ 個人情報漏洩問題
 - ≡ USBメモリ等の可搬記憶媒体の普及
 - ≡ 従業員による持ち出しと、抑制方法の混迷
- ≡ ソフトウェアライセンスの厳密な適用
 - ≡ ベンダー監査の増加
- ≡ ソフトウェアの脆弱性とゼロ・ディ攻撃
- ≡ ITに関わるリスクが多極化し、ITシステム管理者の仕事は急増中！

現在の動向

- ≡ 長引く不況の影響
- ≡ ソフトウェア著作権団体の活動強化
- ≡ 止まらない情報漏洩
- ≡ CO2削減の圧力

長引く不況の影響

≡ IT予算の削減

- ≡ クライアントPC運用に必要なハードウェア・ソフトウェアが購入できない。
- ≡ 効果を数字で表せるものでないと、予算が確保できない、稟議が通らない。

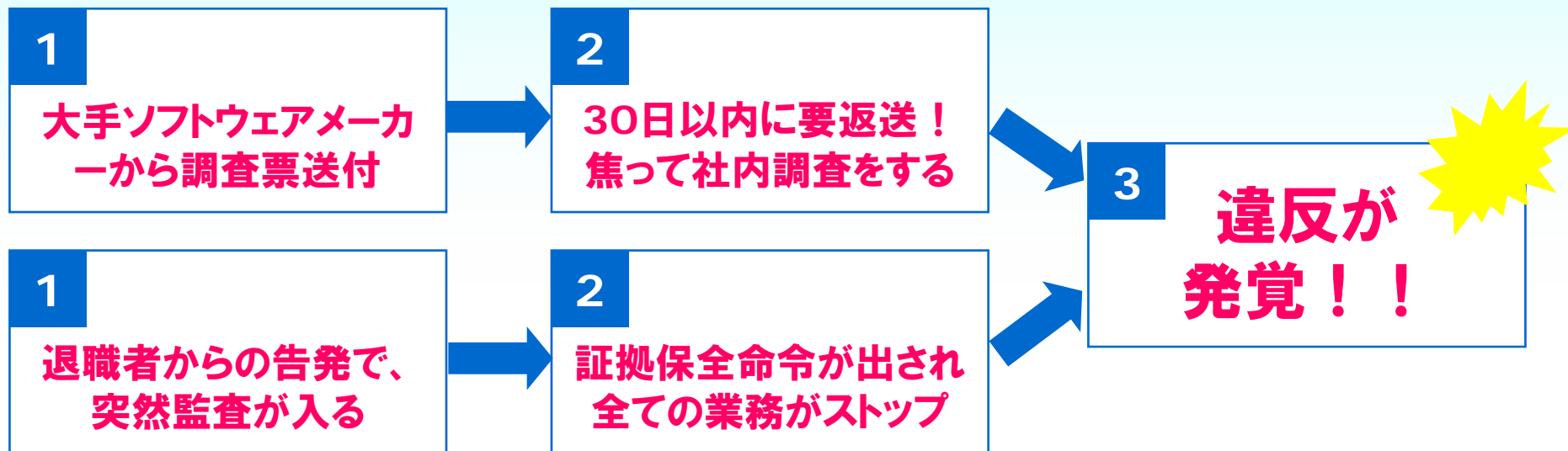
≡ 人員の削減

- ≡ 情報システム部門はコストセンターと見られており、人員削減の対象となっている。
- ≡ このため、それまで人手で行っていた運用管理業務がおろそかになりがち。

≡ ITシステム部門は、システム管理責任を果たせるだろうか？

ソフトウェア著作権団体の活動強化

≡ コンプライアンス違反は、突然やってくる



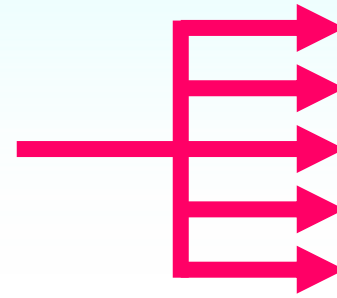
≡ 違反企業は、他のベンダーにとっても、とても監査したい企業である。

止まらない情報漏洩

ウイルス感染
P2Pソフト使用
故意の持ち出し など



情報流出



コピー・拡散

- ≡ 社会的な信用失墜
- ≡ 原因究明のために業務が停滞

- ≡ 被害者への謝罪、賠償
- ≡ 再発防止策

CO2削減の圧力

今後、電気料金に加えて3種類の負担増



私たちに求められる確実なPC管理

≡ PC管理のあるべき姿

- ≡ 組織内ユーザにITサービスを『効果的』かつ『適切』に提供
- ≡ 組織外からの様々なアタックからの防御
- ≡ 組織外からの訴訟リスクの低減

≡ 理想と現実の間で、私たちはどこから手を付ける？

≡ 現実

- ≡ 人手も予算も少ない
- ≡ すべての技術を持ったスーパーエンジニアは居ない
- ≡ ものごとには、優先順位をつけよう！
- ≡ 継続的に管理するには、自動化が必須

PC管理のあるべき姿を知る

≡ ハードウェア

- ≡ PCの台数、構成管理
- ≡ 使用状況の把握
- ≡ 使用電力の把握
- ≡ 管理対象外PCのネットワーク接続拒否

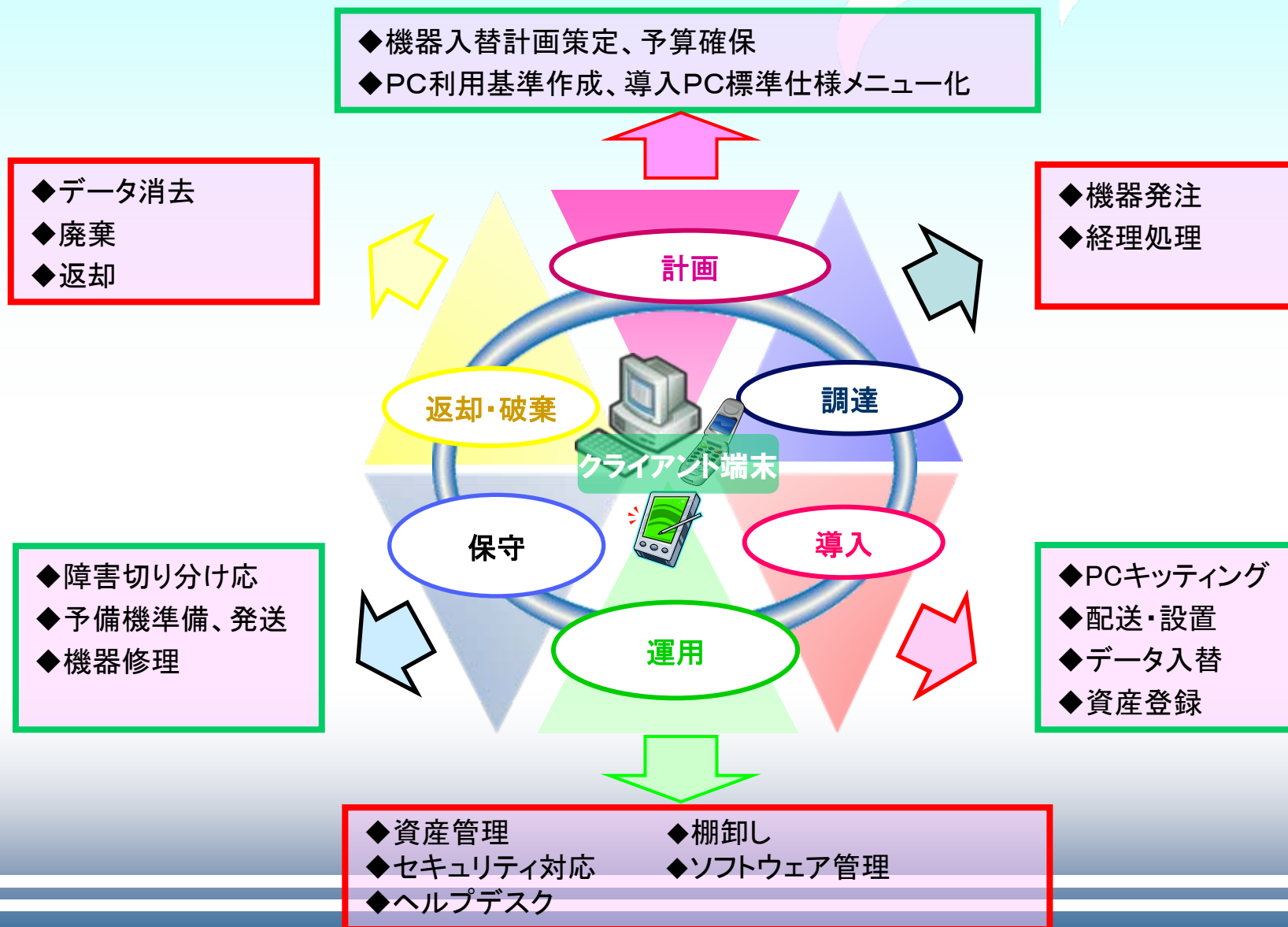
≡ データ・人

- ≡ 組織内外でのデータ移動の統制
- ≡ PC操作ログの取得

≡ ソフトウェア

- ≡ 使用しているソフトウェアの把握
- ≡ ライセンス管理
- ≡ パッチ適用
- ≡ ポリシ適用
- ≡ 業務外利用の抑制
- ≡ 危険ソフトウェアの起動禁止

クライアントPCライフサイクルマネジメント



PC管理の実務

≡ 計画

- ≡ 入替・導入計画策定
- ≡ 実態の把握
- ≡ 入替基準の策定
- ≡ PCの標準決定(機器仕様、オプション、OS、導入ソフト)
- ≡ 調達方法の決定
- ≡ 新規取得・入替機器台数見積もり
- ≡ 見積もりの取得
- ≡ 予算確保

≡ 調達

- ≡ 機器の調達依頼の内容確認
- ≡ 機器発注
- ≡ 納期確認
- ≡ 受領
- ≡ 経理処理

PC管理の実務

≡ 導入

- ≡ 稼動確認
- ≡ セットアップ
 - ≡ 標準、個別
- ≡ 配送
- ≡ 設置
- ≡ 既存機とのデータ入替
- ≡ 付属品の保管
- ≡ 資産登録

≡ 運用

- ≡ 資産管理
 - ≡ 利用者情報、構成情報、周辺機器の構成情報、ライセンス情報
- ≡ セキュリティ対応
 - ≡ セキュリティパッチの適用、アンチウィルスソフト導入・パターンファイル更新
- ≡ ソフト管理
 - ≡ ソフト配布、バージョンアップ、パッチの適用
- ≡ 棚卸し
- ≡ ヘルプデスク

PC管理の実務

≡ 保守

- ≡ 障害切り分け
- ≡ 代替機の確保
- ≡ 故障状態の把握
- ≡ 代替機を用意、セットアップ、送付
- ≡ 修理手配、見積もり、発送、修理受領、検収
- ≡ 代替機の返却受け取り
- ≡ 代替機の初期化

≡ 返却・破棄

- ≡ データ消去(実施者、消去ソフト選定、調達、作業実績把握)
- ≡ 返却品の確定(付属品、マニュアル類)
- ≡ 返却(納期、返却場所、返送方法)
- ≡ 欠品時対応
- ≡ 廃棄方法

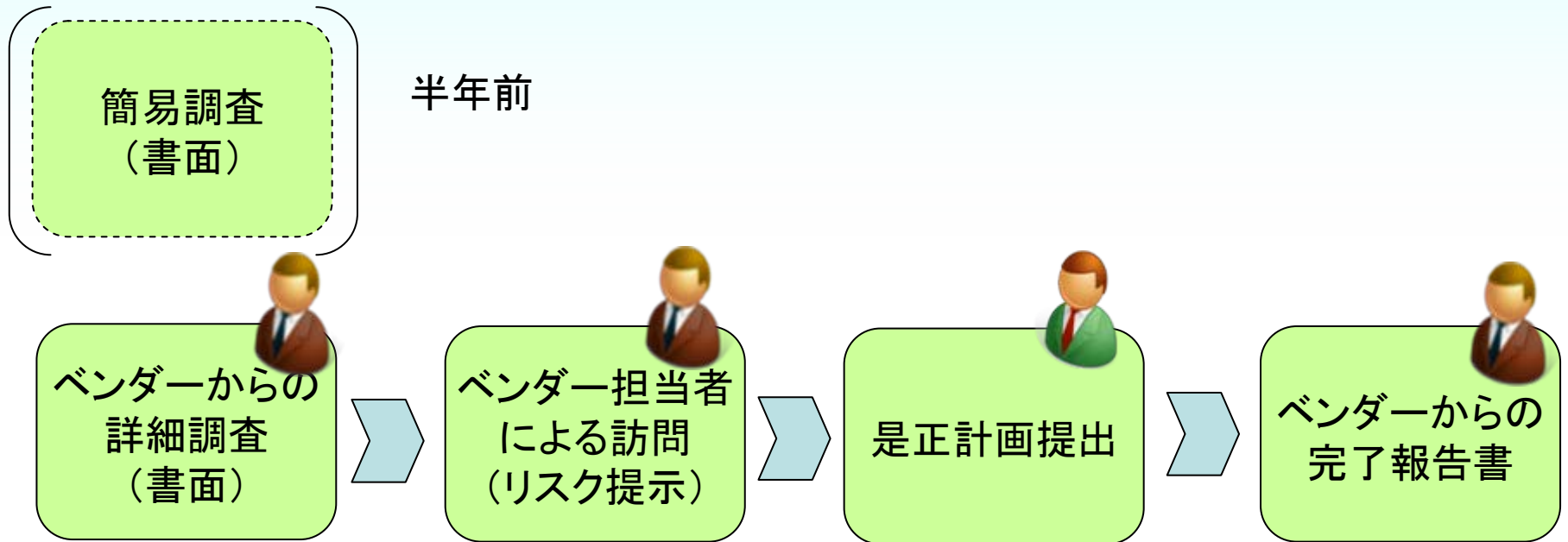
PC管理の実務

- ≡ ソフトウェア資産管理(SAM)
 - ≡ ベンダー毎の最適ライセンス形態の検討
 - ≡ ライセンス購入、ライセンス証書の保管
 - ≡ ライセンス情報管理(数、形態、期間、ライセンスキー)
 - ≡ ソフトウェア利用者管理
 - ≡ ソフトウェア棚卸し
 - ≡ ベンダーからの問い合わせ(?)対応

- ≡ SAM : Software Asset Management

ベンダー監査の例

<監査の流れ>



ソフトウェア資産管理 (SAM) のメリット

≡ 無駄の排除

- ≡ 使用していないソフトウェアは他のPCで有効活用でき、新規の購入コストを削減できる。

≡ 購入価格の改善

- ≡ ソフトウェアの必要数が明確になり、大量一括購入が可能になる。これは価格交渉カードになる。

≡ 法的責任を果たす

- ≡ 厳密なSAMを継続的に実行すると、法的責任を果たし、訴訟リスクや組織のイメージダウンリスクを低減できる。

ソフトウェア資産管理 (SAM) のメリット

≡ 業務の円滑化

- ≡ SAMによって、セキュリティ対策やパッチ・アップデートの適用対象が明確になる。適用のための作業計画が作成可能になり、エンドユーザの業務が円滑化する。

≡ ソフトウェア・ハードウェアの更新計画

- ≡ ハードウェアの更新計画は、従来から行われているが、同様に必要となるソフトウェアのライセンスコストが容易に計算可能となる。

PC管理の自動化

インベントリ収集

ソフトウェアのインストール情報の収集/ハードウェアの構成情報の収集
etc

クライアントPC構成維持・管理

レジストリ/INIファイル設定・変更/脆弱性監査

インテル® vPro™テクノロジー対応

クライアントPCの電源管理(オン/オフ)、HW障害対応、セキュリティポリシー違反PCの遮断

ネットワーク遮断

クライアントモジュールがインストールされないPCのネットワークからの遮断

各種台帳作成

クライアントPCより取得したインベントリ情報を元に台帳を作成

初期展開・管理除外の自動化

クライアントPCの導入・ポリシー設定から管理除外までのライフサイクルマネジメントの自動化

ソフトウェア利用制限

不適切なソフトウェアの起動を禁止/使用禁止ソフトウェアのインストール制限

ライセンスキー

ソフトウェアのライセンスキーを一元管理

ソフトウェア遠隔自動インストール ファイル配信

アプリケーションのバージョンアップ/ウイルス定義ファイルやセキュリティパッチの更新

クライアントPCの電力管理による 電気代削減

グリーンIT対応

アプリケーション利用状況把握

クライアントPCごとにソフトウェアの使用時間を測定

定期ポリシーチェック・是正・抑止

ポリシーチェックとポリシーに合致しないPCの是正・利用抑止

管理ツールの使い分け

現状把握・棚卸し に役立つ機能

インベントリ収集
管理台帳作成
ライフサイクルマネジメント

リモート電源ON(インテル® vPro™テクノロジー連携)

リモートコントロール
BIOSレベルでのリモートコントロール(インテル® vPro™テクノロジー連携)

ユーザサポート に役立つ機能

セキュリティ に役立つ機能

WSUS連携
定期ポリシチェック・是正不審PCのネットワーク遮断

遠隔ファイル配布
インストール制御
起動制御

ライセンスキー管理
複雑なライセンス体系の一元管理

ソフトウェア管理 に役立つ機能



Q&A

PCネットワークの管理・活用を考える会

座長 柳原秀基

hide3@yanagihara.cc
